



インスレーションになる
2018-2019
国際ロータリーのテーマ

高萩ロータリークラブ

TAKAHAGI
ROTARY CLUB
WEEKLY
国際ロータリー第2820地区
1970年10月30日設

発行
2018.10.10
第49巻
第13号
通巻
2295号

ロータリー月間

今月：経済と地域の発展

来月：ロータリー財団

10月 3日の例会より

『高萩市の財政について』 卓話 田所和雄会員

高萩ロータリークラブの例会の貴重な時間を、私の卓話に充てていただき、ありがとうございます。何をお話ししようかと考えましたが、私が11年前から取り組んでおります、市議会議員としての活動を振り返ってみて、お話することに致しました。

もともと私は、今現在、その時を一生懸命やっ頑張るとい性質でありまして、過去のことを振り返ることはあまりないのですが、今回の卓話をきっかけに、過去を振り返り、未来を展望する思いをめぐらす事ができました。

私が市議会議員として活動を始めたのは、平成19年の11月23日ですので、今年で約11年目になります。56歳の時でしたので、政治の世界に足を踏み入れるに足しては、少し遅い年齢でしたが、67歳の現在まで、何とか元気に活動を続けています。それもひとえに、皆様のおかげであると感謝しております。

十数年前の高萩市を振り返ってみると、様々な事がありました。平成14年には、日本加工製紙が破産し、その跡地に産業廃棄物の処理場を誘致する方針が打ち出され、市民の反対運動が起こり、市政が混乱を呈していました。また、高萩協同病院の建設予定地をめぐる方針もなかなか決まらず、平成17年には、駅前イトーヨーカ堂が閉店、撤退するなど、高萩市にとってマイナスと思われる大きな出来事が続きました。

また、当時は、北海道の夕張市が巨額の債務を抱かえ財政再建団体に指定されるとともに、事実上の財政破綻となっており、この高萩市も、およそ380億円の借金を抱かえ、財政の健全化に向けて手を打たなければ、将来的には市民負担を増大させ、財政破綻が危惧される状況でありました。そのような中、平成18年の市長選挙に、若い人を擁立するという動きが起こり、その後援会の活動に参加したことが、私が政治の世界に踏み込む第一歩となりました。



若い市長が当選し、市長に対する期待は大きかったのですが、改革を推進する市長と市議会との対立は激しく、身を削る行財政健全化計画の策定、新たなゴミ処理場の建設計画など、市長の提案に対する市議会の反発は激しいものがありました。また、18人の議員定数を6人削減して12人に改めるという、市民の直接請求運動が起こされ、そのことが市長と議会の対立に波及していました。(なお、現在の議員定数は、平成23年3月の条例改正により2人減となり、16人となっています。)

そのような状況の中、新しい人が議会に入るべきという意見が拡がり、新しく5人の議員が誕生し、私も新人の一人として議会活動を開始したわけです。

月 日	プログラム	担 当	7月4日 出席報告		
			会員数	出席者	欠席者
10月10日	ガバナー訪問	会長・幹事・親睦活動委員会			
10月17日	会員増強フォーラム	会員増強・維持委員会	28	13	11
10月24日	米山月間卓話(米山奨学生)	米山記念奨学会	出席率：54.17%		
10月31日	外部卓話(柴田尚志様)	プログラム委員会	前々週訂正：84.00%		

事務所：〒318-0033 高萩市本町2-65
常陽銀行高萩支店内 TEL/FAX：0293-24-0505
■URL <http://takahagirotaryclub.web.fc2.com/>
■E-Mail : takahagi-rotaryclub@h7.dion.ne.jp

会 長：福田 文乃
幹 事：大河原 浩
例 会：毎週水曜日 12:30～13:30

公共イメージ委員:田所和雄 石平光 上田良三 小森勇一
大高司郎 石君平 花園文熙 棚谷 稔 鈴木直登

四つのテスト

言行はこれに
照らしてから

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

私としては、会社経営の経験もありますので、本市の一番目の懸案事項である行財政の健全化については、力になれるとの思いはありました。また、市議会議員として活動できれば、市長を内部から支えられるし、行政に対して意見を具申し、また監視することもできるという思いもありました。



(高萩市の財政について)

今から10年前、平成20年当時は、行財政健全化が一番大きな課題でした。

資料として用意しました、借入金現在高状況のプリントをご覧ください。この資料は、高萩市財政事情書の作成及び公表に関する条例により、毎年5月と11月に市のホームページに公表される財政事情書の一部です。

10年前の平成20年の財政状況は、まさに厳しいものでした。平成20年度の一般会計予算は、今年度の124億円より若干少ない113億円でありました。そして、当時の市税収入は、46億円でした。

一方、プリントの借入金残高状況を見てみると、一般会計で120億円、上水道、下水道、そして、第三セクターの土地開発公社、住宅公社を含めると合計339億円の借入金がありました。このうち土地開発公社の約27億円、住宅公社の50億円については、債務超過のため返済のめどが立たない状況でした。まさに何も手を打たなければ、高萩市は財政的に破綻してしまう危険性がある状態でした。

この様な背景のもとに、平成20年の10月に、平成23年度までの4年間を改革期間とする行財政健全化計画が策定され、市職員や市民の皆さんの痛みを伴う財政改革が断行されました。また、土地開発公社については、市が19億円を肩代わり返済し、住宅公社についても、平成22年に破産処理をし、借入金47億円を肩代わり返済して、市の一般会計から合計で66億円を長期間にわたって返済していくことになりました。

その後、平成23年の東日本大震災を経て、平成24年度から平成27年度までの4年間を計画期間とする第2次行財政健全化計画が策定され、この間に赤浜地区工業団地TK-2への企業誘致、高萩工業高校跡地への明秀学園の学校施設の誘致が実現しました。そして、現在、平成28年度から平成32年度までの5か年を計画期間とする第3次行財政健全化計画に取り組んでいる最中です。

私は、これまで十数回にわたり、財政の健全化について発言、提言を繰り返して参りました。プリントの下の部分は、本年、平成30年の借入金残高であります。借入金の合計は、223億円であり、10年前より116億円も少なくなっています。一般会計の借入金現在高の140億円の中には、住宅公社の返済分、「第三セクター等改革推進債」が含まれており、今後も平成42年度まで12年間にわたり、毎年、元金2億4,000万円を返済する見込みになっています。今のところ、職員の皆さんの努力と、市民の皆さんの協力により、財政の健全化は、着実に進展していると言えます。私も、議員として、行財政の健全化につきましても、今後とも注意を払うと共に、発言、提言を継続して行って参りたいと考えております。

(震災からの復興と新庁舎について)

平成23年3月11日(金)の午後2時46分、宮城県沖を震源とするマグニチュード9.0の地震が発生し、高萩市に於いても、震度6強の地震に襲われました。これまでに経験したことのない大きな地震であり、全市にわたる停電、断水、交通網・通信網の寸断、食糧の不足、ガソリンの不足、等々、市民生活に大きな混乱が生じました。物的な被害としては、道路は亀裂や土砂崩れにより、26の路線が通行止めとなりました。建物の被害は、全壊が204棟、半壊が1069棟、一部損壊が3891棟にものぼりました。市内の4割強の世帯が建物の被害を受けたことになりません。

また、大津波警報による避難勧告や、自宅の被害により、多くの市民の皆さんが避難生活を余儀なくされ、高萩市では、学校施設等、14箇所を避難所としましたが、最大で約5千人が避難所生活を送りました。この未曾有の大震災から、7年半が経過しましたが、この地震の体験を忘れることなく、災害に強いまちづくりを進めていく必要があると考えています。

この東日本大震災により、昭和33年竣工の高萩市旧庁舎は、柱や壁に激しい損傷を受け、使用不能となりました。そして、「高萩市総合福祉センター」と「リーベロたかはぎ」を仮庁舎とし、敷地内に仮設庁舎を建設し、新庁舎が竣工する昨年の9月まで、そこで庁舎業務が行われました。

新庁舎の建設については、様々なご意見があったと思います。平成23年6月には、市役所内部に「高萩市庁舎のあり方検討委員会」、また、議会において「震災復興等対策特別委員会」を設置し、市庁舎等について調査を開始しました。庁舎の建設には多額の資金が必要となります。高萩市

は、財政再建の途上であり、庁舎建設に係わる基金（貯金）は無いに等しい状態でした。新庁舎の建設に弾みがついたのは、平成24年6月に、国（総務省）が、東日本大震災で被災した自治体庁舎の再建については、自治体が単独事業で再建を行う場合でも、震災復興交付税で、国が全額を負担する、と決めた事によります。

この国の決定をみて、平成24年9月に本庁舎再建場所については、本庁舎跡地を再建場所とすることが提案され、議会でもこれを承認し、本庁舎再建に向けて、基本構想・基本計画の策定をスタートしました。翌年、平成25年10月に策定された基本計画では、新庁舎は、8,535㎡の敷地に、延べ床面積、約6,000㎡で、4～5階建の鉄筋コンクリート造り、免震構造の建物とすることになりました。一番の問題となる概算事業費は、㎡単価、約45万円で、総事業費は、約30億円という計画でした。そして、この基本計画に則って実施計画を策定することが了承されました。

ところが、その後、平成26年9月に、執行部から提出された「高萩市本庁舎再建事業財源モデル」では、延べ床面積を6,000㎡から6,800㎡に変更するとともに、資材費や人件費の高騰などを理由に、総事業費を当初見込んでいた30億円から1.5倍の44億円に膨れ上がる見込みと説明しました。

建築費が高騰すると言いながら、面積を800㎡追加し、車庫に2億円もかけ、市の実質的な負担額も21億円と膨大な金額になっていました。

これに対しては、私も憤りを感じましたが、議会側からの批判が相次ぎました。そして、議会の提言として、当初の基本計画に立ち戻り、延べ床面積を6,000㎡、総事業費を30億円に収めるように、設計と財源モデルを見直すことを申し入れしました。

この議会の提言により、平成27年2月に、面積が6,000㎡、総事業費が34億円の財源モデルが、新たに提示され、これを議会が承認しました。

昨年9月10日に竣工した、高萩市新庁舎は、お配りしましたプリントの27年2月24日付の「高萩市本庁舎再建事業財源モデル（概要）」、おおよそこれに沿って建設されております。市議会のチェックにより、面積を削減して、建設費を10億円節約することが出来たわけです。

新庁舎の建設の経過について、お話をいたしました。議会は、チェック機能を持って行政と議論をして、市民のための市政を推進していく役割があると考えております。

（現在課題となっている事業）

9月25日に執行部より、「一般廃棄物処理の広域化に向けての財源について」の説明がありました。新聞でも9月25日付で報道されていますので、ご存知の方もいるとおもいますが、北茨城市と高萩市の2市での可燃ごみの焼却施設の広域的な整備について、整備費の9割以上を実質的に国庫負担で賄える見込みがあるということです。

高萩市、北茨城市ともに、特定被災地方公共団体に指定されており、震災復興特別交付税措置が受けられ、両市の実質的負担分が事業費の3.3%もしくは2.5%になる見込みであるということです。

自前のごみ処理施設を持つことは、高萩市の20年来の課題でしたので、実現できるよう支援してまいります。

予定地は、北茨城市の温泉施設「とおoryんせ」の付近で、高萩市との市境付近で、県有地を検討しているとのこと。

9月28日には、高萩・北茨城両市の市長が環境省と復興庁を訪問しました。また10月1日に準備室を設け両市の職員で準備に入っています。

もう一つは、「幼児教育・保育環境整備計画」というものです。これについては、市内の公立幼稚園（4園）と市の保育所（1所）を一つに集約して、「幼保連携型認定こども園」一か所にするという検討委員会の検討結果意見書が出ており、市役所内部で精査中ということです。私としては、市民の意見聴取もしていない段階で整備計画を進めることには、無理があると考えております。

以上、議員の立場から見た市政の一端をお話して参りましたが、今後とも、誠心誠意、市民の皆さんのために頑張っていきたいと思っております。

ご清聴ありがとうございました。



福田 文乃：会長挨拶

2014年R I理事
会は、10月を重点分野：「経済と地域社会

の発展月間」とした。貧困地域の経済発展を目的とした、企業家、地域社会のリーダー、地元団体を含む地域ネットワークの工場、雇用の創出、支援が行き届いて以内地域社会での貧困消滅、経済と地域社会の発展に関連した仕事に従事する専門職業人のための奨学金支援を強調する月間である。

10月7日を含む一週間（月～日曜日）は、ロータリー学友が地元のロータリークラブと活動したり交流を深めることを強調する月間である。

世界ではボランティア活動や特別イベントを企画しているクラブが多くある。

活動例としては以下のものがある。グアテマラのロータリークラブによる、貧困の連鎖を断ち切るための女性への支援、エクアドルのスキル開発と経営の研修、また西カメルーンの持続可能な農業スキルの指導などである。

この現代、雇用されているにもかかわらず1日にわずか1ドル90セント（約220円）で暮らしている人の数は、世界で約8億人もいる。世界のロータリーは、貧困問題に持続可能な解決策をもたらしするために活動をしている。

米山月間

米山月間は、日本独自の地区別月間である。クラブはこの月に特に米山奨学事業の意義を深く認識し、寄付金を募る活動をする。そのために米山奨学生や地区委員・委員の卓話を聞き、更に奨学会から提供される資料をもとにクラブフォーラムを開催したりすることが推奨されている。奨学会の目的及び事業・寄付及び表彰制度・奨学生の資格などは米山記念奨学会を参照してください。



《大河原幹事報告》

- ① 財団ニュース9月号受理
- ② R I 日本事務局より財団室NEWS 10月号受理
- ③ 経済と地域社会の発展月間リソースのご案内
- ④ 第一分区・親睦ゴルフコンペのご案内
11月23日(金)茨城パシフィックCCにて
- ⑤ 米山記念奨学会より10月米山月間資料受理
- ⑥ 日本文化研修会のご案内
- ⑦ バキオ訪問交流の旅募集要項受理
- ⑧ 青少年奉仕委員会より委員会日より受理
- ⑨ ライラ参加注意事項についてお知らせ
- ⑩ RACより10月第1例会のご案内受理
- ⑪ いきいき茨城ゆめ国体実行委員会よりウェイトリフティング競技リハーサル大会に係る大会役員の委嘱について受理
- ⑫ 茨城県青少年育成協会よりあいさつ・声かけ運動強調月間の取り組みについて受理
- ⑬ ロータリー週報
常陸太田ロータリー・水戸ロータリー・水戸西ロータリー・水戸東ロータリー
- ⑭ 現況報告書配布とガバナー公式訪問スケジュールの確認について

※臨時理事会の開催

10月3日例会開催前に臨時理事会を開催し、菱川健司氏（59歳、安良川在住、菱川歯科医院）から入会届が提出され、了承した。

【ニコニコBOX】

鈴木国男さん：結婚月です。

沼田操さん：今月は米山月間です。寄付金よろしくおねがいします。

石川武信さん：誕生日、結婚月の皆様おめでとうございます。

鈴木直登さん：学校の跡地にドローンの研究所が進出。12月の開校に向け準備急ピッチ。

小森勇一さん：秋日和になりました。高萩は幸せですね。

大高司郎さん：花園さん、田所さん卓話楽しみにしています。

櫻井高志さん

石君平さん：週末は、また台風の予想。出来れば上陸しないでもらいたい。

今川隆さん

田所和雄さん：本日、会員卓話の当番です。宜しくお願いします。

花園文熙さん：本庶京大教授のノーベル賞日本人26人目とかおめでとう御座います。

大河原浩さん：結婚・誕生日の皆様おめでとうございます。

福田文乃さん：入会者がいました。うれしいかぎりです。

本日計 20,000円

累計 260,500円

【ロータリー財団】

本日計 2,000円

累計 471,760円

【ポリオプラス】

本日計 0円

累計 30,860円

【米山記念奨学会】

本日計 26,000円

累計 193,000円

【結婚月の方】 ❀Congratulation❀

10/4 鈴木啓志・美保子さん

/10 鈴木国男・照子さん

/19 沼田 操・喜代さん

【誕生日の方】 ☆Happy Birthday☆

10/19 皆川武久さん